

1. 科目名 (単位数)	地域看護学 (2 単位)		3. 科目番号	EDHE3315
2. 授業担当教員	高橋 登志子			
4. 授業形態	講義、ディスカッション、インタビュー調査、発表、グループ学習等	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	「衛生学」「公衆衛生学」を履修条件とする			
7. 講義概要	<p>地域看護の理念・目的、対象、方法の概要を学ぶ。また、地域看護の方法の中で特に健康教育を取り上げ、活用される理論と方法の基礎を理解する。地域看護とは、生活の場としての地域社会と住民の健康を保持増進するための看護活動であり、「地域保健 (CommunityHealth)」「公衆衛生看護学 (PublicHealthNursing)」と同意語である。</p> <p>家族が生活を営む地域 (Community) の保健医療・福祉行政施策 (サービス) と保健看護諸活動の実際を体系的に学ぶ。この包括的看護活動は、地域住民のよりよい健康安全とそれを支える地域社会・環境を総合する働きかけにより実践されるものである。母子保健、成人保健、老人保健、環境保健、精神保健、地域保健行政施策、地域診断 (地域の健康評価) 等、広域的な内容が含まれる。地域医療機関で行われる「臨床看護実習」、地域福祉施設で行われる「ソーシャルワーク実習」「保育実習」等を介して、包括的看護活動を行う実践力を身につけ、養護教諭、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などとして地域看護活動を基盤にそれぞれの専門性を発揮する能力を養う。</p>			
8. 学習目標	<p>以下について学習、理解し、説明できるようになることを学習目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域看護の理念・目的、対象、方法の概要を理解する。 2 地域における健康教育について理解する。 3 学校保健と地域保健の連携について理解する。 4 子どもの権利条約を通して子どもの権利をより深く理解する。 5 一人親家庭の生活実態や子どもを巡る諸問題について理解する。 6 地域ネットワークについて面接調査を計画し実践する方法を学ぶ。 7 ニーズを実現するための社会資源の活用や他職種との協働等支援の方法を理解する。 8 以上を通して、児童生徒がどのような環境で生育するのかを理解し、多様化した現代の社会にあって養護教諭に求められる役割と機能を十分に理解する。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポートと課題等は授業内で提示する。 e-mailでの提出を認める</p> <p>課題1 地域社会と地域看護について考え、地域住民の健康の把握方法についてまとめる</p> <p>課題2 地域保健法・学校保健法・母子保健法等関連する法律を精読し重要な条文を整理する</p> <p>課題3 子どもの権利条約を精読し日本に与えた影響について考察する</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>河田史宝・内山有子編著『養護教諭のための公衆衛生学』東山書房 2018</p> <p>【参考図書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・鈴木路子編著『教育の基礎としての公衆衛生看護ノートー地域のための教育・保健福祉・心理の融合』教育家庭新聞社, 2014 2・岩波ジュニア新書『子どもの権利条約』岩波書店、2013年3月 3 『学校保健動向』学校保健会 			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護の理念・目的、対象、方法の概要を理解することができたか。 2. 地域における健康教育について理解できたか。 3. 学校保健と地域保健の連携について理解できたか。 <p>○評定の方法 (下記を総合して成績評価をする。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加態度 (30%) 2. 授業ごとに提出する授業への振り返り (30%) 3. 小テスト・課題レポート (40%) <p>上記のほかに、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の修得の条件とする。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>地域看護学は、住民の健康把握・ニーズ調査、各種統計資料の収集・分析・解説を含めた攻守上雨声の一部である。この領域は精神保健学・学校保健学・環境保健論・養護教育学及び社会福祉等多くの関連領域との連携が必須である。これらを相互に学びながら。新たな視点を発見し、児童生徒の健康を把握し、問題に対応し管理実践・教育実践活動がいかに重要であるかを学び、その実践力を身につける。</p> <p>子どもを取り巻く環境は複雑多様化している。このような環境が子どもの健全な成長と発達にどのような影響を与えているか子どもの置かれている実態から理解を深めてほしい。教科書を購入のこと授業には教科書を必ず持参すること、事前学習を必ず確認して参加してください。</p> <p>授業中は必要以外の通信手段の電源を切ってください。</p> <p>その他必要なことは、授業中に示唆します。</p>			
13. オフィスアワー	<p>授業日は、授業と授業の間の時間、授業終了後に対応する。</p> <p>授業日以外に連絡を必要とした場合は p-totakaha@ed.tokyo-fukushi.ac.jp に連絡してください。</p>			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	公衆衛生学とは何か 公衆衛生における地域看護 (地域保健) 活動の役割と意義	事前学習	教科書 pp.10~27 公衆衛生学とは何かを読んで臨む。	
		事後学習	公衆衛生の活動の役割と意義についてまとめる。	
第2回	保健衛生統計	事前学習	教科書 pp.30~40 健康水準と健康指標につ	

	健康水準と健康指標 有病率、罹患率、死亡率、平均余命と平均寿命他 人口統計	事後学習	いて理解して臨む。 健康水準と健康指標、人口統計で学んだ内容をまとめる。
第3回	疫学・疾病予防学 疫学の調査、疫学分類 健康管理と疾病予防対策と健康増進	事前学習	教科書 pp.46～63 疫学・疾病予防学について読んで臨む。
		事後学習	健康管理と疾病予防対策と健康増進について自分の考えをまとめる。
第4回	学校保健と地域保健① 学校の保健の概念と構造 子どもの健康と学校保健 子ども健康の現状と課題	事前学習	教科書 pp.66～88の学校保健を読んで子ども健康の現状と課題を考えて臨む。
		事後学習	子ども健康の現状と課題をまとめる。
第5回	学校保健と地域保健② 地域社会・地域保健との連携 産業界・産業保健との連携 地域社会・地域保健について考え地域住民の健康の把握方法	事前学習	教育実習先の地域社会、自分の住んでいる地域、池袋・王子校のある地域などを想定して臨む。
		事後学習	地域保健法を基盤に行われる地域住民の健康把握の方法を整理する。
第6回	学校保健と地域保健③ 環境衛生 学校環境衛生基準	事前学習	教科書 pp.94～114の学校の環境衛生について読んで臨む。
		事後学習	学校の環境衛生基準につままとめる。
第7回	学校保健と子ども家庭福祉① 子ども家庭支援と社会福祉 子ども家庭を取り巻く社会状況 一人親家庭の生活実態	事前学習	教科書 pp.70～88、pp.162～167 子ども家庭を取り巻く社会状況を理解して臨む。
		事後学習	子ども家庭を取り巻く社会状況を他の学生の考えを含めてまとめる。
第8回	学校保健と子ども家庭福祉② 子どもの権利条約 子どもを養育する権利と義務 要保護児童対策地域協議会の現状を情報収集する 虐待・社会的養護・要保護児童の現状と対策について	事前学習	子どもの権利条約について調べて臨む。
		事後学習	教育実習先の地域社会、自分の住んでいる地域、池袋・王子校のある地域の要保護児童対策地域協議会の現状と課題をまとめる。
第9回	主な疾病の予防① 感染症対策 健康危機管理対策	事前学習	教科書 pp.118～135 主な疾病の予防について読んで臨む。
		事後学習	感染症対策、健康危機管理対策についてまとめる。
第10回	主な疾病の予防② 循環器疾患 生活習慣病 がん アレルギー疾患 不慮の事故と自殺の防止	事前学習	主な疾病の予防について看護学などの既習学習を踏まえて臨む。
		事後学習	主な疾病の予防をまとめる。
第11回	精神保健① 精神障害とは 主な精神障害の現状 メンタルヘルスケアの現状と課題	事前学習	教科書 pp.138～158 精神保健について読んで臨む。
		事後学習	主な精神障害の現状、メンタルヘルスケアの現状と課題についてまとめる。
第12回	精神保健② 学校における精神上的課題を有する子どもへの支援について	事前学習	第11回の事後学習から子どもの支援について考えて臨む。
		事後学習	学校における精神上的課題を有する子どもへの支援についてまとめる。
第13回	子どもの学校健康に関わる問題を取り上げ、養護教諭としての他職種、教職員の連携の支援についてまとめる① グループで話し合い整理する	事前学習	学校健康に関わる問題（精神上的課題以外）を考えて臨む。
		事後学習	グループの話し合いを整理し、発表用資料や原稿をまとめる。
第14回	子どもの学校健康に関わる問題を取り上げ、養護教諭としての他職種、教職員の連携の支援についてまとめる② グループ発表	事前学習	グループ発表に向けてグループ内で役割を明確に臨む。
		事後学習	グループ発表の評価とグループ内での自己の役割の評価をする。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの学びから自分の考えをまとめて臨む。
		事後学習	全体まとめから、これまでの学びに不足部分プラスしてまとめること。